

**河川敷を無償で借り市民広場を**  
**質問** 多摩川右岸河川敷を国から無償で借りて、多目的で利用できる市民広場を整備してどうか。具体的には、郷土博物館と青梅リバーサイドパークの間にある土地。市には主に青少年が多く利用する、スケートボードやバスケットゴール、また一人でも遊べる壁打ち等ができる場所がない。児童遊園とは違った広場の整備をすべきである。

**市長** 国土交通省に貸し出す考えがないことや、この土地は安全、管理面で不安があることから、市民広場として整備する考えはない。  
**遊歩道の設置について**  
**質問** 郷土博物館から青梅リバーサイドパークへの道は完全に遮断されている。ここに遊歩道が設置されれば、多摩川の両岸をほぼ1周することができ、市民の利便性を図るために遊歩道の設置を積極的かつ具体的に対応すべきと考える。郷土博物館の先のサッカー場や国の資料置き場は羽村市の行政区であり、市民が河川敷とはいえない

政区に地続きで行き来できないのでは困る。  
**市長** 市では通称「丸山下」を安全に通過できるようその対策を国土交通省に申し要請しているが、現状では散策路として整備することは大変難しいとの回答である。今後も要請していく。  
**北杜市とのさらなる交流を**  
**質問** 北杜市との「里山交流事業」を考えてはどうか。市民が自分の楽しみで自然休暇村に泊まり里山の整備をし、市民間の交流を深めることを考えてはどうか。東京都品川区と山梨県早川町は「マウントしながら利用協定」を締結し、市民参加型で交流を深めている。  
**市長** 里山交流事業の協定をすぐに締結していく考えはない。



▲多摩川河川敷

いちかわ えいこ  
**市川 英子** 議員  
 (日本共産党)



◇河川敷を無償で借り市民広場を  
 ◇遊歩道の設置について  
 ◇北杜市とのさらなる交流を

**質問** シルバー人材センターは公益法人化されるが、体制に変化はあるのか。  
**市長** 就労支援等の体制に変化はない。  
**フィルムコミッション事業はいつ発足するのか**  
**質問** 発足する準備はどこまで進んでいるのか。

**市長** 設置主体・体制整備、財源確保等について研究を進めており、8月26日付で「多摩フィルムコミッション連絡会」に加入した。  
 ※アクティブシニア：仕事に興味に意欲的で生涯現役志向が強く、経験豊富で優れた価値判断を有するシニア

**質問** 羽村駅にも設置するよう、JRに働きかける考えはないか。  
**市長** 羽村駅に待合室を予定していたが、プラットホームの屋根の延長工事等を先行させたことにより、今回は、見送られたと聞いている。

8月に、西多摩地域広域行政圏協議会でJRに要望行動を行った際、羽村駅プラットホームにも待合室を設置してほしい旨、独自に要望してきた。

おおつか  
**大塚 あかね** 議員  
 (民主党)



◇生涯現役の街の実現を  
 ◇フィルムコミッションの発足は？

**生涯現役の街の実現を**

羽村市の高齢化率は19・0％。5人に1人が高齢者。元気な高齢者が地域の活動に参加できる環境整備、当たり前に働くことができる社会の実現に向けた取り組みを進めることが必要である。



▲羽村市シルバー人材センター

**質問** 市の「高齢者」に対する認識は。  
**市長** 元気な高齢者が地域を支える力となり、活躍することで、生涯現役社会が拓かれていくと認識している。  
**質問** 老人クラブが自発的に活動できるように支援について伺う。  
**市長** リーダーの育成が重要。そのためリーダー講習会などへの参加をよびかけていく。その他、社会貢献活動や環境美化活動等への参加を促し、クラブの自主性を尊重しながら、活動が行えるよう、側面から支援を行っていく。  
**質問** アクティブシニアの活動を行政としてどのように活用していく考えか。  
**市長** 防犯・環境・保健・福祉・教育等、様々な分野の社会貢献活動メ

ニューを充実させ、地域での自主的、主体的活動が展開されるよう促していきたい。  
**質問** 市内企業の高齢者雇用確保措置〔定年の引き上げ〕〔継続雇用制度の導入〕〔定年の定め廃止等〕の現状、促進の状況はどうなっているか。  
**市長** 国の施策であるので、市内の状況等は把握していない。

はまなか としお  
**濱中 俊男** 議員  
 (新公会市民クラブ)



◇児童館・学童クラブ等の充実について  
 ◇羽村駅に待合室の設置を

**児童館・学童クラブ等の充実について**

**質問** 放課後子ども教室の今後の予定は。  
**市長** 次世代育成支援行動計画後期基本計画の終了年度の平成26年度までに、全ての小学校で設置することを目標としている。  
**質問** 市立保育園の民営化について、今後の予定は。  
**市長** 2園について、平成25年4月から実施し、残りの2園についても、平成26年4月から民営化していきたい。



▲西児童館

**質問** 児童館に正規職員を配置する考えは。  
**市長** 今後、保育士等の資格を持つ正規職員を配置することを検討する必要がある。  
**質問** よりゆとりのある学童クラブ運営はできないか。  
**市長** 段階的に、施設のゆとりを含め充実に努めており、今後待機児童の解消と厚生労働省のガイドラインに沿った運営をしていく。

**羽村駅に待合室の設置を**  
**質問** 青梅線で待合室が設置してある駅は。  
**市長** 25駅中、立川駅・昭島駅・拝島駅・福生駅・小作駅・河辺駅・東青梅駅・青梅駅の8駅である。

**再任用制度について**  
**質問** 平成22年度の再任用希望者と再任用された人数は。  
**市長** 希望した職員は15人で、再任用となった職員は12名である。  
**質問** 再任用職員の平均年収は。  
**市長** 週4日勤務で311万円、週3日で232万円である。  
**質問** 市民が納得する勤務形態、給料だと考えるか。  
**市長** 一般職員と同様に、各職場において日々の業務に従事しており、給料

かわさき あきお  
**川崎 明夫** 議員  
 (新政会市民クラブ)



◇再任用制度について  
 ◇中小企業振興資金融資制度について

も東京都に準拠した給料表により支給している。理解が得られるものと考え  
**質問** 知識や経験を生かせる職場環境に配置されているか。  
**市長** 配置できていると考える。  
**質問** 市が補助金・助成金を交付している団体への再就職のあっせんや、その目的、人選については。  
**市長** 市を退職した職員の雇用については関与していない。

**中小企業振興資金融資制度について**  
**質問** 債務の一本化(借換融資)について、都や商工貯蓄共済のように利用しやすい制度にすべきと思うが。  
**市長** 市の融資制度も、平成20年度に制度改正を行い、融資限度額の範囲内で追加融資を行えるように制度の拡充を図ってきた。都の制度や、商工会の商工貯蓄共済融資制度についても借り換えができる制度となっている。市の融資制度を一本化することにより返済の負担軽減が図られることもあることから、金融機関や東京信用保証協会と協議し、実施について、前向きに検討していきたい。



▲羽村市商工会

かどうか、羽村市観光協会や関係団体とともに調査研究していきたい。  
**ヒブワクチン等のワクチンについて**  
**質問** ヒブワクチン、子宮頸がん、肺炎球菌ワクチンは、今後何を優先し、助成額はどうか検討されたのか。  
**市長** ヒブワクチンについては、今次

定例会において、必要経費を計上した。その助成額は、概ね8千円を要する接種費用の半分の4千円を予定。子宮頸がん、小児肺炎球菌ワクチンについては、実施に向けて検討を進めていく。  
 ○その他、ポイ捨て禁止条例の制定等について質問しました。

対応を実施した。  
**質問** 浸水、氾濫が予測される地域を把握しているか。  
**市長** 台風による道路の冠水想定箇所として、17か所を把握しているが、ゲリラ豪雨の際には、これら以外の冠水もあり、早期に状況を判断し、対応し

ている。  
**質問** ゲリラ豪雨への取り組みは。  
**市長** 気象警報発令時の態勢は、市職員による監視警戒を実施、さらに非常配備態勢により水防対策を実施していく。



▲水道事務所

**質問** 市の水道技術を生かし、企業等と協力し、海外に事業参入できる仕組みで、新たなビジネスの立ち上げを。  
**市長** 市として、海外進出に向けた取り組みは現在考えていないが、今後、国や大都市の水道事業体の動向を注視しながら可能性を検討していく。  
**「観光・商業の活性化」について**  
**質問** ローカルラジオ番組FM茶笛(チャッピー)と協定を結び、羽村の観光、市政情報、防災情報等の提供を。  
**市長** 「FM茶笛」は、埼玉県入間市に所在し、市でも広い地域で聴くことができる。広報媒体の一つとして、今後の市の情報を積極的に提供していく。  
**質問** チュリーアップ畑の水田を「田んぼアート」として、市の観光振興を図っているか。  
**市長** 田んぼアートは、田んぼをキャンパスに見立てて色の異なる稲を使い、巨大な絵を作り出すもの。課題はあるが、田んぼアートが、市の特性を生かした観光事業の一つとして実現できる



**交付団体移行後の財政運営について**  
**質問** 国や東京都の補助制度などに影響は出るのか。  
**市長** 羽村市は本年度、交付団体に移行したが、3年平均の財政力指数が1を超えていることから、これまでの補助率が直ちに変更になるわけではない。  
**質問** 交付団体移行後、これからどのような財政対策を講じていくのか。  
**市長** 市内企業の業績不調による市民税法人分等の大きな落ち込みにより、厳しい財政状況になっている。市税の大幅減少等に対処するため、現在、全庁的な取り組みとして、第1次の「緊急経済財政対策」を講じているが、第2次の対策を策定し、さらなる財源確保の徹底と歳出抑制に取り組んでいく。また、仮称「行財政改革基本計画」を策定し、財政基盤の確立を図り、市民サービスの維持と建設事業等の計画的な実施に努めていく。

**自然災害対策について**  
**質問** 今年の夏の市内におけるゲリラ豪雨の被害状況は。  
**市長** 今年の夏は3回の大雨洪水警報が発令された。特に、7月5日の警報発令時には、市内10か所で道路の冠水があり、直ちに排水溝の清掃や、市民からの要請で土のうの搬送などの緊急



▲今年の水防訓練の様子

にしかわ みさほ  
**西川 美佐保** 議員  
 (公明党)



◇羽村市の具体的「成長戦略」  
 ◇ヒブワクチン、子宮頸がん等  
 ◇ポイ捨てのないまちづくり

はしもと ひろたか  
**橋本 弘山** 議員  
 (新政会市民クラブ)



◇交付団体移行後の財政運営について  
 ◇自然災害対策について